



# 2017年度事業報告と2018年度事業予定

(2017年4月1日～2018年3月31日)

(2018年4月1日～2019年3月31日)

## 2018年度のアサヒキャンプを考えるために

NPO 法人アサヒキャンプ理事長 石田易司

先日の総会后、NPO 法人アサヒキャンプの新理事長に選出された15期の石田です。ちょっと古い話で恐縮ですが、1987年9月のファイナルの直前に、当時の小西事務局長から志摩観光ホテルに呼ばれました。喫茶室で1杯1200円のコーヒーを飲みながら、もしかしたらビールの1杯も出してくれ、ひと夏ご苦労さんとねぎらってくれるのだと思っていたら、9月10日から東京本社に転勤ですと告げられました。この時点でぼくのアサヒキャンプキャンプ長としての仕事が終わりました。39歳の時でした。



その後再び大阪に戻り、しばらくたった47歳直前の1995年1月、阪神淡路大震災が起り、半年の神戸勤務の後、新聞社をやめる決心をしました。50歳の1998年、実際に退職し、桃山学院大学社会学部で新しく教育という仕事につきました。

この間、志摩が閉鎖になり、朽木も終わり、NPO 法人アサヒキャンプが生まれました。

自分のしてきたキャンプがなくなってしまうこと、単にしてきたというより、ボランティアとしてのキャンプを超えて、それを仕事にしてきたわけですから、そして、その仕事はこれ以上僕に合った仕事はないと思えるくらい好きな仕事でしたから、キャンプ場がなくなるというのは、想像を超えて辛いことでした。

代替りのものがあって、それを楽しめればよかったのですが、そして、現実には大学教員もほかのNPO 法人の仕事や学会の仕事も面白かったのですが、アサヒキャンプの仕事を納得できないまま終わったことに大きなわだかまりがあって、皆さんの活動を横目で見ながら、積極的なかわりができませんでした。

今回、大学教員を退職するにあたって、改めて、戸室さんや佐野さんからキャンプを仕事にするってどういうことだったのか、あるいは、自分にとってアサヒキャンプとは何だったのかという話を伺って、改めてアサヒキャンプで自分のしてきたことの大きさや素晴らしさを認識しました。そして、今まで敬遠してきた分も取り戻すべく、理事長という重責をお引き受けしました。

アサヒキャンプの素晴らしいところは「創造と協同」というシンボリックな言葉を持ち出すまでもなく、常に広く社会を見据えて新しいこと、社会的な意義のあることに、若いカウンセラーの力を結集して取り組んできたことです。昨年、次世代リーダー育成キャンプに取り組みました。今年も新しくシニアキャンプを実施しようとしています。

佐野さんへのインタビューで印象的だったのは、社会に訴える、社会を変える特別キャンプをするために戦ってきたということ、戸室さんはそのための理論の研修を充実させたことを、彼には珍しく声を大きく語ってられました。

改めて「創造と協同」をかみしめながら、カウンセラーたちの若い力が十分発揮できるように、皆さんと一緒に頑張ってみたいと思います。

# 2017年度 報告

## 事業の概要

アサヒキャンフは、65期として8名の新人カウンセラーを迎え、総勢20名余のキャンプカウンセラーと4名のキャンプディレクターで、4つの主催、1つの共催、3つの協力(派遣)キャンプを実施した。9月に予定していたファミリーキャンプは台風のため11月に順延となった。

年間を通じて会員の子弟を集めた YAMA キャンプを3回実施(延べ参加人数16名)した。クラフトやお菓子作り、川遊びやハイキングなど子どもたちに寄り添うプログラムを行なった。

次世代リーダーズキャンプは、30名予定のところ21名と減少したものの関係者全員の尽力により好評裏に終了した。賛助会費、寄付を新たに獲得することができた。

## 実施状況

### ① アサヒキャンプカウンセラーの養成

(内 容)勉強会、研修(トレーニングキャンプなど)

勉強会 : 大阪市中央区 南星ビル9F 会議室  
月に1~2回

キャンプ: 滋賀県くつきの森(トレキャン)

5月 3日~ 5日・2泊3日

6月10日~11日・1泊2日

7月15日~17日・2泊3日

10月14日~15日・1泊2日

(対象) 62期~65期 約20名

(支出) 825,301 円

### ② 森の子キャンプ(麻生里山センター主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(日時) 8月5日~6日・1泊2日

(対象) 小学3年生~小学6年生 25人

(派遣収入) 80,000 円

(支出) 108,486 円

### ③ SORA サマーキャンプ(NPO 法人ナック主催)

(場所) 四條畷市立野外活動センター

(日時) A コース: 8月10日~11日

B コース: 8月17日~18日

チャレンジコース: 8月21日~23日

(対象) 小学1年生~小学6年生 約30~70人

(派遣収入) 47,900 円

(支出) 17,100 円

### ④ くつきネイチャーキッズキャンプ (アサヒキャンフ主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・自然研修センター

(日時) 8月11日~13日・2泊3日

(対象) 小学3年生~中学2年生 11人

(参加費収入) 186,000 円

(支出) 464,740 円

### ⑤ くつきわんぱくキャンプ(アサヒキャンフ主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・自然研修センター

(日時) 8月19日~20日・1泊2日

(対象) 小学1年生~小学3年生 7人

(参加費収入) 56,000 円

(支出) 142,681 円

### ⑥ 次世代リーダーズキャンプ(協力) (次世代リーダーズキャンプ実行委員会主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(日時) 9月9日~10日・1泊2日

(対象) 社会人21人

### ⑦ のびのびキャンプ(共催)

(大阪府青少年活動財団・関西テレビ青少年育成事業団)

(場所) 奈良県・吉野宮滝自然学校

(日時) 10月7日~9日・2泊3日

(対象) 小学4年生~中学3年生 7人

### ⑧ YAMA キャンプ(アサヒキャンフ主催)

(場所) くつきの森・自然研修センター

(日時) 5月 3日~ 5日・2泊3日

7月15日~17日・2泊3日

7月22日~23日・1泊2日

(対象) 5歳~中学3年生 延べ参加者 16人

### ⑨ 障がい児・者ファミリー/クラブファミリーキャンプ (アサヒキャンフ 主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(日時) 11月3日~4日・1泊2日

(対象) アサヒキャンフクラブ・一般 43人

キャンプディレクター・カウンセラー 23人

(参加費収入) 281,220 円

(支出) 347,402 円

### ⑩ SORA ウィンターキャンプ(NPO 法人ナック主催)

(場所) 四條畷市立野外活動センター

(日時) 12月24日~25日・1泊2日

(対象) 小学1年生~小学6年生 44人

### ⑪ SORA スプリングキャンプ(NPO法人ナック主催)

(場所) 四條畷市立野外活動センター

(日時) 3月28日~29日・1泊2日

(対象) 小学1年生~小学6年生 73人

## 組織運営

### ○会員(2018年3月31日現在、()内は昨年対比)

正会員 92名(7名増)

賛助会員 127名(40名増)

### ○総会

日時: 2017年5月21日13時~14時

場所: 朝日新聞社屋内・イタリア料理「ラルゴ」

出席者: 正会員24名 委任状出席者: 正会員37名

合計61名/会員総数85名

2016年度事業報告、収支決算報告、2017年度事業計画、収支予算書、役員案一覧、65周年親睦会、アサヒキャンフルネッサンスに関し報告、承認を得た。その後は、会食歓談を行い、和やかに幕を閉じた。

○理事会

**決算理事会**

日時: 2017年5月21日  
 場所: 朝日新聞社 会議室  
 出席: 12名(内 委任状2名)

**定例理事会**

日時: 2017年10月28日  
 場所: 大阪市中央区 南星ビル9階会議室  
 出席: 15名(内 委任状4名)

**理事検討会**

日時: 2018年1月14日  
 場所: 大阪市中央区 南星ビル9階会議室  
 出席: 11名

日時: 2018年2月3日  
 場所: 大阪市中央区 南星ビル9階会議室  
 出席: 8名

日時: 2018年2月24日  
 場所: 大阪市中央区 南星ビル9階会議室  
 出席: 7名

**予算理事会**

日時: 2018年4月1日  
 場所: 大阪市中央区 南星ビル9階会議室  
 出席: 13名(内 委任状5名)

○役員

理事長	畠中彬	(11期ポパイ)
理事	新保正秋	(13期ナマズ)
理事	許斐喜久子	(14期トマト)
理事	竹岡哲朗	(18期グゲゴ)
理事	幾田雅彦	(21期ヤンペ)
理事	小泉正人	(24期メスカル)
理事	辻川さとみ	(24期ゲル)
理事	畑寿一郎	(24期サガリ)
理事	山崎徳子	(26期ウーたん)
理事	竹森大祐	(27期パッチ)

理事	市原健蔵	(32期ふどお)
理事	石田博和	(41期サリー)
理事	徳重和寛	(49期はちべー)
監事	大西良和	(18期べった)
監事	中村茂高	(20期ほいで)

○ディレクター

CD(キャンプ長)

竹森大祐・鈴木亮彦(44期ベガ)・中村茂高

サブCD

中野海(52期なると)・井上裕美(59期じゃっく)

くつきプロジェクト担当

石田博和

現役正規ディレクター

63期えびぞう・63期おかめ・64期ジャンボ

○事務局

事務局長 : 竹森大祐  
 スタッフ : 畑寿一郎  
 阪本優理子(26期グッピー)  
 廣内慶子(51期しらす)



現役正規ディレクター  
 (左より)えびぞう・おかめ・ジャンボ

第12期決算報告書

2017/4/1 ~ 2018/3/31

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額
経常利益 合計	3,964,000	4,063,195	99,195
1. 会費	1,072,000	1,169,000	97,000
2. 寄付金	840,000	1,173,439	333,439
3. 助成金	0	0	0
4. 事業収益	1,879,000	1,629,750	△249,250
5. その他収益	173,000	91,006	31,620
経常費用 合計	3,726,800	4,194,790	467,990
6. 事業費	3,109,500	3,626,998	517,498
7. 管理費	617,300	567,792	△49,508
当期正味財産増減額	237,200	△131,595	△368,795
前期正味財産増減額	2,432,351	2,432,351	0
次期正味財産増減額	2,669,551	2,300,756	△368,795

## 2018年度 予定

## 実施予定

## ① アサヒキャンプカウンセラーの養成

(内容) 勉強会、研修(トレーニングキャンプなど)  
 勉強会: 大阪市中央区 南星ビル9F 会議室1~2回/月  
 キャンプ: 滋賀県くつきの森(トレキャン) 5回/年  
 (対象) 64期~66期 約20~25名  
 (予算経費) 966,000円

## ② 森の子キャンプ(麻生里山センター主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館  
 (日時) 8月4日~5日・1泊2日  
 (対象) 小学4年生~6年生 30名  
 (予算収入) 80,000円 (予算経費) 110,000円

③ SORA(NPO 法人ナック主催)サマーキャンプ  
スプリングキャンプ・ウインターキャンプ

(場所) 四條畷市立野外活動センター  
 (日時) サマーキャンプ : 8月・1泊2日  
 ウインターキャンプ: 12月・1泊2日  
 スプリングキャンプ: 3月・1泊2日  
 (対象) 小学1年生~6年生 約240名  
 (予算収入) 30,000円 (予算経費) 18,500円

## ④ くつきネイチャーキッズキャンプ(アサヒキャンプ主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森  
 (日時) 8月11日~13日・2泊3日  
 (対象) 小学4年生~中学生 20名  
 (予算収入) 360,000円 (予算経費) 569,000円

## ⑤ くつきわんぱくキャンプ(アサヒキャンプ主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森  
 (日時) 8月18日~19日・2泊3日  
 (対象) 小学1年生~3年生 20名  
 (予算収入) 160,000円 (予算経費) 209,000円

## ⑥ のびのびキャンプ(共催)

(場所) 奈良県・吉野宮滝自然学校  
 (日時) 10月6日~7日・1泊2日(説明会 9月3日)  
 (対象) 小学3年生~中学生・自閉症児 15名  
 (予算収入) 0円 (予算経費) 35,000円

⑦ 障がい児・者ファミリー/クラブファミリーキャンプ  
(アサヒキャンプ主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館  
 (日時) 9月22日~23日・1泊2日  
 (対象者) アサヒキャンプクラブ・一般 50名  
 学生カウンセラー 20名  
 (予算収入) 401,000円 (予算経費) 399,000円

## ⑧ 次世代リーダーズキャンプ(協力)

(場所) 伊勢志摩  
 (日時) 9月29日~30日・1泊2日  
 (対象) 社会人 30名  
 (予算収入) 200,000円

## ⑨ YAMAキャンプ(アサヒキャンプ主催)

(場所) 滋賀県・くつきの森  
 (日時) 全6回  
 (対象者) OBOGの家族など 5歳~中学生 各日程約5名程度  
 (予算収入) 40,000円 (予算経費) 72,000円

## ⑩ シニアキャンプ(アサヒキャンプ主催)

(場所) くつきグリーンパーク  
 (日時) 11月10日~11日・1泊2日  
 (対象) 社会人 20名  
 (予算収入) 100,000円

## 組織運営

## ○留任役員

理事: 竹岡哲朗・幾田雅彦・小泉正人・辻川さとみ・畑寿一郎  
 山崎徳子・竹森大祐・市原健蔵・石田博和  
 監事: 大西良和

## ○新任役員

理事長: 石田易司(15期いとこん)  
 理事: 西堀和美(32期ぴこ)、加藤正道(33期アダモ)  
 松川綾子(44期パツバラ)  
 監事: 東野雅夫(23期フロク)

## ○ディレクター

CD(キャンプ長) 竹森大祐・鈴木亮彦・中村茂高  
 サブCD(副キャンプ長) 中野海  
 くつきプロジェクト担当 石田博和  
 現役正規ディレクター 64期ゴルゴン・村長・げっぺい

## ○学生カウンセラー

64期: 女子 5名・男子 1名 65期: 女子 5名・男子 3名  
 66期: 10名(継続募集中)  
 今秋(2018年10月)卒業予定者 3名

## 第13期予算書

2018/4/1 ~ 2019/3/31

(単位:円)

科目	2018年度(第13期)予算金額		2017年度(第12期)決算金額(参考)	
会費	1,150,000	収入 3,321,000	1,169,000	収入 4,063,195
寄付金	461,000		1,173,439	
助成金	200,000		0	
事業収益	1,420,000		1,629,750	
その他収益	90,000		91,006	
事業費	2,583,500	支出 3,321,000	3,626,998	支出 4,194,790
管理費	737,500		567,792	
当期正味財産増減額	0		△131,595	
前期正味財産増減額	2,300,756		2,432,351	
次期正味財産増減額	2,300,756		2,300,756	



## 新任役員ご挨拶

今年度より理事として関わらせていただくことになりました、32期のびこです。アサヒキャンプには、小5～高3までキャンパーとしてお世話になりました。どのキャンプにも忘れられない思い出がありますし、カウンセラーとしての経験が今でもふとした場面に出てくるものがあって、自分でも驚きです。



子ども達を取り巻く環境は、私が小さかった頃とは大きく変化しました。空き地や路地で異年齢同士わいわい遊ぶ姿は、テレビや映画の中です。子ども達には深い森のひんやりした空気や、川の水のしびれるような冷たさ、テントの直ぐ外で聞こえる虫の声など、自然を肌で感じながら、仲間と過ごしてほしいものです。また、青年やシニア世代キャンプの新たな可能性にも期待しています。

アサヒキャンプの永い歴史の中で、ほぼ中間期の私ですが、諸先輩方から託されたバトンを、パワー溢れるフレッシュな現役生へと引き継ぐお手伝いが出来ればうれしいです。皆さまどうぞよろしくお願い致します。

西堀和美

この度、理事のお役を拝命しました、33期のアダムです。高校生ボランティアとしてアサヒキャンプにご縁を頂き、大学時代は朽木の専属としてどっぷりとキャンプ生活に浸かっており、まさにわが青春のアサヒキャンプでした。長年のブランクはありましたが昨年の5月にワークキャンプにお誘い頂き数十年ぶりに朽木の地を訪れ、「お帰り」と声をかけて頂いた瞬間、あの頃に戻れた気がしました。



その時、諸先輩や私より遥かに年若のOB及び現役の皆様方のキャンプに対する情熱を拝見し又、NPO法人立ち上げ前後、そして運営されている現状のお話を伺い、感謝すると共に自身を顧みて申し訳ない気分がいっぱいになりました。

微力ではございますが少しでもお役に立ち、少しでも恩返しが出来ればと思っています。皆様どうぞ、ご教授ご指導下さいます様お願い申し上げます。

加藤正道

44期パツバラと申します。私は4年間キャンプカウンセラーとして学んだことを『キャンプと生涯教育』というテーマに、卒業論文を作成する程アサヒキャンプに感銘を受けました。卒業後、就職・結婚・出産を経ましたが、その時々でアサヒキャンプで培った理念が大きな支えになりました。



昨年より、スタッフとしてワークキャンプに参加する機会ができ、微力ながらワークができることに喜びを感じています。ワークキャンプに参加することで、なつかしさを味わうことはもちろん、今のアサヒキャンプを垣間見ることができ、これからのアサヒキャンプの在り方を見守りたいという思いが生まれました。

多種多様なキャンプがあると思いますが、私は子ども中心のキャンプ、また障がい児キャンプの大切さについて関わっていきたいと思っています。

若輩ながら、理事に就任して私が力を注ぎたいところは、運営委員会という、現役キャンプカウンセラーがキャンプの運営の話に関わる場で現役の思いを聞き、その思いと先輩方の意見をもとにキャンプ運営ができる過程に関わっていきたいというところ

です。皆様のご意見、ご指導、いつでも声をかけていただきたいと思っています。よろしく願いいたします。

松川綾子

この度、監査役を拝命いたしました23期のフロクです。

■私の兄は「喘息児キャンプ」のキャンパーでした。

キャンプでは毎朝行われる乾布摩擦で全身に擦り傷をつけ、真っ黒に日焼けして元気に帰って来ました。兄は、それからというもの毎日のようにキャンプソングを唄い、夜光虫が光る多徳島の素晴らしい自然を私に話してくれました。そして、何よりカウンセラーの皆さんから良くて頂いた事・私はアサヒキャンプに憧れました。



■大学に入って、幸い私はカウンセラーとして仲間入りをさせて頂きました。

4年間はキャンパーの兄の話を自分が実践する日々、事あるごとに兄の楽しかった心情がカウンセラーである自身の励みになりました。そしてキャンプは私の人生を形作るほどの素晴らしい経験となりました。時を経てライフスタイルや環境が随分と変わりましたが、人が人として生きる時、大切なものはいつの時代も変わらないと思います。アサヒキャンプにはキャンパーも、カウンセラーも、その原点を辿り、学べる仕組みがありました。

■今のアサヒキャンプって何だろう？

技術に裏打ちされた“伝統”は伝わっているだろうか？単にOBのノスタルジックな“懐かしみの象徴”になっていないか？世にニーズはあるのか？ニーズを創り出す展望と気概はあるのか？何が出来るのか？意味のある組織として存続するのは大変な事だと思います。本当に考えないと募集されるカウンセラーに失礼だと思います。

僭越ですが、そんな事を考えながら、少しでもお役に立てれば・と思っております。宜しく願いいたします。

東野雅夫



現役正規ディレクター

(左より) 村長・ゴルゴン・げっぺい

# YAMA キャンフ



## YAMAキャンフ

子どもたちのやりたい気持ちを大切にするキャンフです。これからも沢山のご参加お待ちしております！

62期 ばんばん



## ネイチャーキッズキャンフ

ミステリーをテーマに、様々なミッションを協力し合い、乗り越えました。

キャンパーと共に現役も成長できたキャンフでした。

64期 ゴルゴン



# ネイチャーキッズ キャンフ



# くつきわんぱく キャンフ



## わんぱくキャンフ

現役の声で2017年から誕生した小学生低学年対象のキャンフです！朽木の自然を感じ、のびのびと自由に楽しめました！

64期 げっぺい







# 森の子 キャンフ

## 森の子キャンプ

今回は子どもたちが自分で作ったバードコールを持って湿地園に向かいました！朽木の自然を感じることでできたキャンプでした！

64期 ジャンボ



# 次世代リーダーズキャンフ



# 障がい児・者ファミリー クラブファミリーキャンフ



## ファミリーキャンプ

アサヒ 65 周年ということでお祭りのようなキャンプを目指しました！

縁日風のゲーム大会や盆踊りなど大盛り上がりでした！

64期 かにぞう



## 助成金担当理事より

私が大学3年の時、フレンドサークルキャンプが始まりました。情緒障がい児～今でいう発達障がいの子も達～を対象にしたキャンプです。いったいどんな子ども達なのか？キャンププログラムはどうしたらいいのか？疑問だらけの私が「実際に情緒障がいの子にも出会いたい」というと、当時のCD 石田こんちゃんが動いて下さって大阪市立児童院(情緒障がい児療育施設)で実習できることになりました。新聞社がバックについているとなんでもできたそんな時代でした。

NPO 法人になったアサヒキャンプの課題のひとつは資金の調達です。経済的な困難を抱える家庭に育つ子ども達や外国にルーツがある子ども達など、キャンプの体験が育ちの中できっと役に立つだろう子ども達にキャンプに来てほしいと願っても、資金難という大きな壁があります。

私は毎年、この壁を少しでもうがつことができればと思って助成金を申請しています。そして、実際にキャンプを計画・実行する現役カウンセラーが、キャンプの意味や意義を考える機会になり、世の中のいろんな課題に目を向けるきっかけになればなあと願っています。

2018年度も近畿労金から助成金を頂き、経済的に困難な家庭に育つ子ども達を招待することになりました。感謝とともに、キャンプが実りあるものになるように願っています。

助成金担当理事 辻川さとみ(24期ゲル)



## 会費納入のお願い

NPO法人アサヒキャンプにいつも温かいご支援とご理解を頂きまして心より御礼申し上げます。

★正会員会費・・・1万円(議決権あり・総会欠席時は委任状提出が必要です)

★賛助会員会費・・・3千円(議決権なし)ですが、余裕のあるかたは、5千円・1万円のご支援を是非お願い致します。

残額は寄付金として計上し有効に活用させて頂きます。

同封の振替用紙にて**7月末まで**にお振込み下さい(お名前をお忘れなく)。

一人でも多くの若者が、アサヒキャンプの活動を通じて成長する機会を得られますように、そして、子どもたちが素晴らしい自然体験が出来ますように、皆様のお力をお貸しください。是非、引き続きご支援下さいますようどうかよろしくお願い致します。

## アサヒキャンプ ルネッサンスと次世代リーダーズキャンプ

アサヒキャンプは1953年に創設され、組織キャンプとして、青少年の健全育成に貢献し、ハンディキャップ児童、困窮児童等の社会的支援が必要な子ども達のキャンプを牽引してきました。日本キャンプ協会等組織キャンプが全国に広まっていく魁の役割を果たしてきました。

65周年を迎えて、組織キャンプはその価値が現在の社会に必要とされているのか？いじめ、貧困等青少年を取り巻く環境は社会・家庭の変化とともに複雑化してきています。また、4人に1人が65才以上となる高齢化社会が進んできています。アサヒキャンプは現在の社会でも価値を持ち続けていると、アサヒキャンブルネッサンスを始めることになったものです。①アサヒキャンプの企業人への認知を推進する。②組織キャンプの価値を青少年から高齢者に展開する。③組織キャンプ関係だけでなく、他の団体とのコラボを推進する。

これらの基本方針から「次世代リーダーズキャンプ」を企画して、昨年9月9日10日1泊2日企業人21人の参加で朽木で実施しました。企業研修の講師を中心とした講演とアサヒキャンプのキャンプファイア、キャンプソング、BBQ、自然散策等の野外活動を交えたユニークなキャンプとなりました。参加した企業人からも「新たな価値を発見した」「社会貢献として意義があった」等の感想がきております。

今年は、次世代リーダーズキャンプは伊勢志摩で実施予定です。アサヒキャンブルネッサンスの第2弾で高島市のてんくう温泉グリーンパークでシニアキャンプを企画しています。アサヒキャンプが社会に貢献できる組織キャンプであり続けていく原動力としたいと考えています。

竹岡哲朗(18期グゲゴ)



## 編集後記

昨年に引き続き、報告書作成に携わらせていただきました、52期のうずらです。ゴールデンウィークにワークキャンプに参加してきました。久しぶりの朽木で「おかえり」と声をかけてもらって、自然と「ただいま」と返事を返していました。卒業して10年たっても変わらないモノがそこにあること、たくさんの支えがあってアサヒキャンプが継続していること、帰る場所があることの喜びを感じました。たくさんの方々の支えがあって、アサヒキャンプは継続しています。まだまだ微力ですが、できる範囲でお手伝いをさせていただきたいと思っております。

「できる範囲のお手伝い」をしていただける方、継続募集中です。よろしくお願ひします。

永田友梨(52期うずら)

決算書類・予算書などの書類やキャンプの写真は、ホームページで公開しております。

「アサヒキャンプ 大阪」で検索し、右下「[会員サイト](#)」をクリックしてご覧ください。

ご質問は、[office@asahi-camp.com](mailto:office@asahi-camp.com) まで。

総務部スタッフ: 畑寿一郎、幾田雅彦、阪本優理子、磯田稔次(27期コマケ)

大石茂(27期ぎよらい)、廣内慶子、田港佳那(52期だいず)、永田友梨

